

暮らしの要求にこたえ、憲法を守る日本共産党を大きく！「六・一五演説会——さいたまスーパーアリーナ」に
あなたもぜひ御参加ください

「近所のみなさん。日本共産党です。」

七月に行われる参議院選挙を前にして、日本共産党は、有権者のみなさんの、暮らしの要求にこたえ、憲法を守るために、全力をつくす決意です。六月一五日には、JRさいたま新都心駅近くの「さいたまスーパーアリーナ」で、志位和夫委員長を迎えて、「演説会」を開きます。比例代表候補の紙 智子さん、埼玉選挙区候補のあやべ澄子さんも、お話しします。ぜひ、お気軽に、ご参加ください。

みなさん。

年金問題が、熱い焦点となっています。五千万件もの年金記録が「宙に浮く」問題、いわゆる『消えた年金問題』です。

年金保険料は、額(ひたい)に汗して働いた方々が、納めつづけたものです。納めた方々には、うけとる資格があります。問題は、政府の落ち度で、複数の記録がある方々の、「名寄せ」・「一本化」が、きちんと行われてこなかったことです。民主党の菅厚生大臣時代も、自民党の小泉厚生大臣の時代も、公明党の坂口厚生労働大臣の時代も、こぞって問題が放置されてきました。その上、社会保険庁を「解体・民営化」して、国の責任まで「消して」しまおうとするなど、もつてのほかです。

日本共産党は、政府の責任で、とことん解決させるために、全力をつくしてまいります。

みなさん。

六月からの県民税と市(町、村)民税の納付通知書が届いて、びっくりなさっているのではないのでしょうか。住民税の定率減税が廃止され、高齢者のための控除が廃止されたために、二年続きの増税です。いったいどこまで搾り取ろうというのでしょうか。参議院選挙では、庶民増税を推進してきた自民党・公明党に、きびしい審判をくだそうではありませんか。

暮らしの要求は、本当に切実です。

日本共産党は、国の責任で、国民健康保険税をひとり一万円引き下げること、介護保険の国の負担を増やして、国として軽減・免除の制度をつくることを、求めます。また、地方自治体が進めている、子ども医療費の無料化制度を、国の制度として確立することを求めます。

みなさん。

これらの切実な要求実現と、生活保護の母子加算復活のために必要な財源は、せいぜい一兆円程度です。無いとは言わせません。米軍に言われたら、グアムの新しい基地の建設に三兆円もポンと出すのが安倍政権です。史上空前の大もうけをあげている大企業の減税要求には、まっ先にこたえるのが政府です。思いやる相手が違うのではないのでしょうか。

国民の暮らしを思いやる、日本共産党の議員をふやして下さい。

「近所のみなさん。」

参議院選挙では、憲法と日本の進路が問われます。

日本共産党は、主権在民の民主主義と人権、社会保障を大切に、憲法を生かす政治を進めます。

アメリカとソ連の対立は過去のものとなりました。武力に変わって、外交の力が威力を発揮する時代です。

憲法九条改悪を許さない日本共産党、あやべ澄子さんに、大きなご支援をお寄せください。ご静聴・ご協力ありがとうございました。